

国家公務員の長期病休者の状況

表1 長期病休者の性別・傷病別順位（第1位～第10位）【令和3年度】

	総数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
総数	6,500 100.0%	精神・行動の障害 4,760 73.2%	新生物 461 7.1%	循環器系の疾患 265 4.1%	筋骨格系・結合組織の疾患 207 3.2%	損傷・中毒・その他外因の影響 202 3.1%	妊娠・分娩・産じょく 121 1.9%	神経系の疾患 101 1.6%	消化器系の疾患 96 1.5%	その他 72 1.1%	耳・乳様突起の疾患 41 0.6%
男	4,568 100.0%	精神・行動の障害 3,376 73.9%	新生物 301 6.6%	循環器系の疾患 242 5.3%	損傷・中毒・その他外因の影響 149 3.3%	筋骨格系・結合組織の疾患 142 3.1%	消化器系の疾患 77 1.7%	神経系の疾患 72 1.6%	その他 53 1.2%	腎尿路生殖系系の疾患 32 0.7%	内分泌・栄養・代謝疾患 26 0.6%
女	1,932 100.0%	精神・行動の障害 1,384 71.6%	新生物 160 8.3%	妊娠・分娩・産じょく 121 6.3%	筋骨格系・結合組織の疾患 65 3.4%	損傷・中毒・その他外因の影響 53 2.7%	神経系の疾患 29 1.5%	耳・乳様突起の疾患 24 1.2%	循環器系の疾患 23 1.2%	消化器系の疾患 19 1.0%	その他

注：下段の数字は総数又は男女別総数に占める割合を示す。

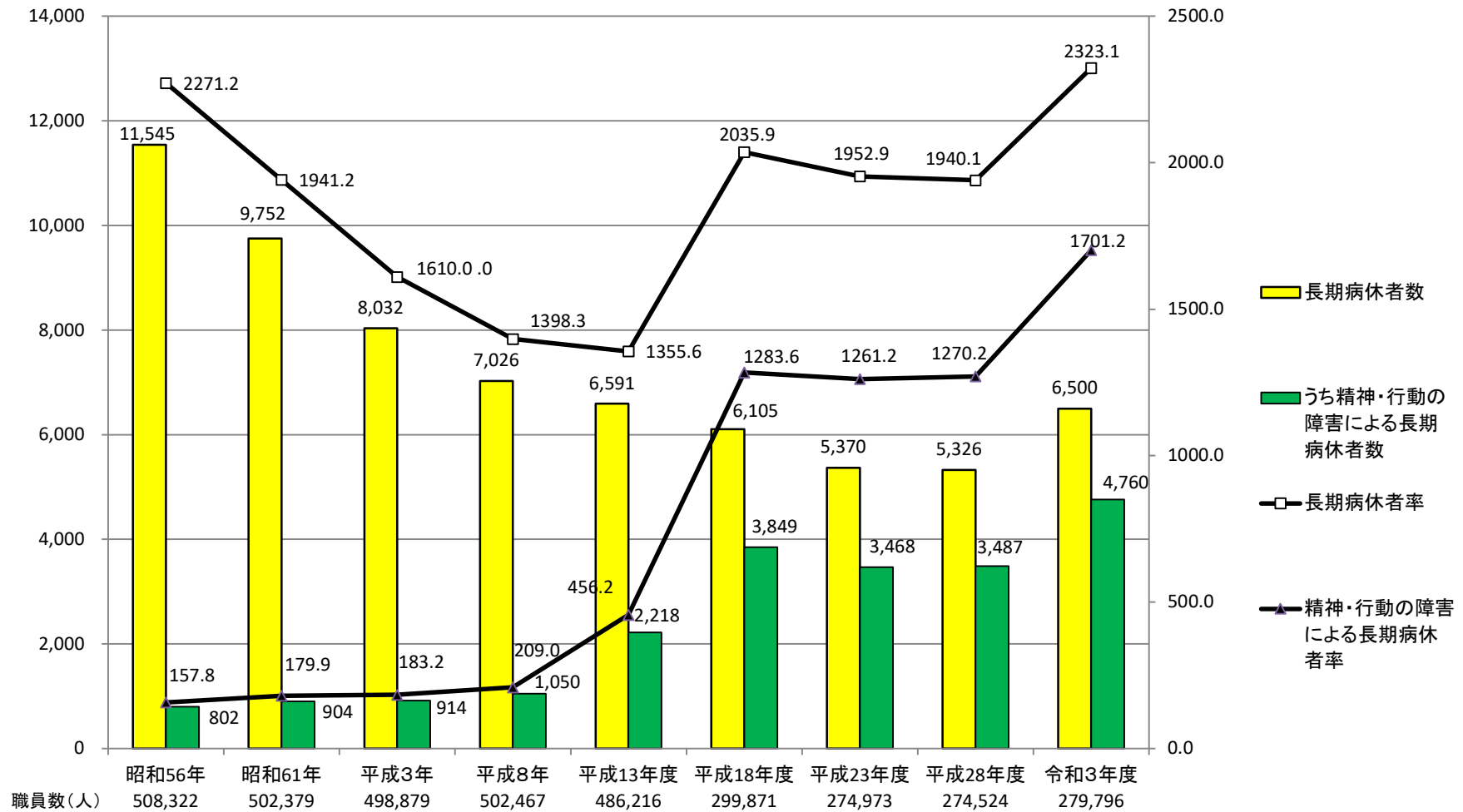
表 2 長期病休者数及び長期病休者率の傷病別順位の推移

	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成8年	平成13年度	平成18年度	平成23年度	平成28年度	令和3年度
総数	11,545 2271.2	9,752 1941.2	8,032 1610.0	7,026 1398.3	6,591 1355.6	6,105 2035.9	5,370 1952.9	5,326 1940.1	6,500 2323.1
第1位	消化器系の疾患 3,195 628.5	消化器系の疾患 2,301 458.0	消化器系の疾患 1,568 314.3	新生物 1,181 235.0	精神・行動の障害 2,218 456.2	精神・行動の障害 3,849 1283.6	精神・行動の障害 3,468 1261.2	精神・行動の障害 3,487 1270.2	精神・行動の障害 4,760 1701.2
第2位	損傷・中毒・その他 外因の影響 1,406 276.6	損傷・中毒・その他 外因の影響 1,195 237.9	損傷・中毒・その他 外因の影響 1,029 206.3	精神・行動の障害 1,050 209.0	新生物 1,045 214.9	新生物 604 201.4	新生物 495 180.0	新生物 515 187.6	新生物 461 164.8
第3位	循環器系の疾患 1,389 273.3	循環器系の疾患 1,060 211.0	新生物 932 186.8	消化器系の疾患 915 182.1	損傷・中毒・その他 外因の影響 644 132.5	循環器系の疾患 317 105.7	循環器系の疾患 307 111.6	循環器系の疾患 279 101.6	循環器系の疾患 265 94.7
第4位	筋骨格系・結合組織 の疾患 968 190.4	新生物 1,034 205.8	精神・行動の障害 914 183.2	損傷・中毒・その他 外因の影響 874 173.9	筋骨格系・結合組織 の疾患 539 110.9	損傷・中毒・その他 外因の影響 289 96.4	損傷・中毒・その他 外因の影響 238 86.6	筋骨格系・結合組織 の疾患 225 82.0	筋骨格系・結合組織 の疾患 207 74.0
第5位	新生物 922 181.4	精神・行動の障害 904 179.9	筋骨格系・結合組織 の疾患 744 149.1	筋骨格系・結合組織 の疾患 673 133.9	消化器系の疾患 485 99.7	筋骨格系・結合組織 の疾患 257 85.7	筋骨格系・結合組織 の疾患 226 82.2	損傷・中毒・その他 外因の影響 222 80.9	損傷・中毒・その他 外因の影響 202 72.2

注：1 各欄の上段の数字は長期病休者数を、下段の数字は長期病休者率を示す。

2 平成13年度以降の「精神及び行動の障害」には、「神経系の疾患」のうち「自律神経系の障害」に分類された者の数を含めて計上している。

図1 長期病休者数及び長期病休者率の推移



※平成13年度から平成18年度にかけての職員数の大幅な減少は、独立行政法人化、国立大学法人化等によるもの

表3 長期病休者の年齢階層別・傷病別順位（第1位～第10位）【令和3年度】

	総数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
総数	6,500 100.0%	精神・行動の障害 4,760 73.2%	新生物 461 7.1%	循環器系の疾患 265 4.1%	筋骨格系・結合組織の疾患 207 3.2%	損傷・中毒・その他外因の影響 202 3.1%	妊娠・分娩・産じょく 121 1.9%	神経系の疾患 101 1.6%	消化器系の疾患 96 1.5%	その他 72 1.1%	耳・乳様突起の疾患 41 0.6%
19歳以下	18 100.0%	精神・行動の障害 17 94.4%	消化器系の疾患 1 5.6%	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29歳	1,319 100.0%	精神・行動の障害 1,174 89.0%	妊娠・分娩・産じょく 49 3.7%	損傷・中毒・その他外因の影響 21 1.6%	消化器系の疾患 14 1.1%	筋骨格系・結合組織の疾患 11 0.8%	神経系の疾患 —	その他 10 0.8%	新生物 8 0.6%	皮膚及び皮下組織の疾患 5 0.4%	内分泌・栄養・代謝疾患 4 0.3%
30～39歳	1,258 100.0%	精神・行動の障害 1,015 80.7%	妊娠・分娩・産じょく 68 5.4%	新生物 39 3.1%	損傷・中毒・その他外因の影響 27 2.1%	筋骨格系・結合組織の疾患 20 1.6%	神経系の疾患 18 1.4%	循環器系の疾患 15 1.2%	消化器系の疾患 14 1.1%	その他 12 1.0%	耳・乳様突起の疾患 10 0.8%
40～49歳	1,550 100.0%	精神・行動の障害 1,165 75.2%	新生物 120 7.7%	筋骨格系・結合組織の疾患 62 4.0%	循環器系の疾患 53 3.4%	損傷・中毒・その他外因の影響 39 2.5%	神経系の疾患 23 1.5%	消化器系の疾患 19 1.2%	その他 17 1.1%	耳・乳様突起の疾患 —	内分泌・栄養・代謝疾患 11 0.7%
50～59歳	2,078 100.0%	精神・行動の障害 1,293 62.2%	新生物 240 11.5%	循環器系の疾患 143 6.9%	損傷・中毒・その他外因の影響 95 4.6%	筋骨格系・結合組織の疾患 91 4.4%	神経系の疾患 46 2.2%	消化器系の疾患 36 1.7%	その他 28 1.3%	腎尿路生殖器系の疾患 21 1.0%	呼吸器系の疾患 20 1.0%
60歳以上	277 100.0%	精神・行動の障害 96 34.7%	新生物 54 19.5%	循環器系の疾患 51 18.4%	筋骨格系・結合組織の疾患 23 8.3%	損傷・中毒・その他外因の影響 20 7.2%	消化器系の疾患 12 4.3%	その他 —	内分泌・栄養・代謝疾患 5 1.8%	腎尿路生殖器系の疾患 4 1.4%	神経系の疾患 3 1.1%

注：下段の数字は総数又は年齢階層別総数に占める割合を示す。

表4 年齢階層別・傷病別長期病休者数及び長期病休者率【令和3年度】

	総数	(参考) 平成28 年度(総 数)	精神・ 行動の 障害	新生物	循環器 系の疾 患	筋骨格 系・結 合組織 の疾患	損傷・ 中毒・ その他 外因の 影響	妊娠・ 分娩・ 産じよ く	神経系 の疾患	消化器 系の疾 患	その他	耳・乳様 突起の疾 患	腎尿路 生殖器 系の疾 患	内分 泌・栄 養・代 謝疾患	眼・付 属器の 疾患	呼吸器 系の疾 患	皮膚・皮 下組織の 疾患	血液・造 血器の疾 患、免疫 機構の障 害	感染症・ 寄生虫症
総数	6,500 2323.1	5,326 1940.1	4,760 1701.2	461 164.8	265 94.7	207 74.0	202 72.2	121 43.2	101 36.1	96 34.3	72 25.7	41 14.7	39 13.9	38 13.6	28 10.0	24 8.6	17 6.1	15 5.4	13 4.6
19歳以下	18 1890.8	5 498.5	17 1785.7	-	-	-	-	-	-	1 105.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	1,319 2528.4	623 1624.8	1,174 2250.4	8 15.3	3 5.8	11 21.1	21 40.3	49 93.9	11 21.1	14 26.8	10 19.2	2 3.8	1 1.9	4 7.7	1 1.9	2 3.8	5 9.6	2 3.8	1 1.9
30～39歳	1,258 2271.8	990 1718.4	1,015 1833.0	39 70.4	15 27.1	20 36.1	27 48.8	68 122.8	18 32.5	14 25.3	12 21.7	10 18.1	4 7.2	5 9.0	5 9.0	-	3 5.4	2 3.6	1 1.8
40～49歳	1,550 2099.7	1,737 1986.3	1,165 1578.2	120 162.6	53 71.8	62 84.0	39 52.8	4 5.4	23 31.2	19 25.7	17 23.0	11 14.9	9 12.2	11 14.9	4 5.4	1 1.4	4 5.4	5 6.8	3 4.1
50～59歳	2,078 2506.5	1,729 2224.4	1,293 1559.7	240 289.5	143 172.5	91 109.8	95 114.6	-	46 55.5	36 43.4	28 33.8	17 20.5	21 25.3	13 15.7	18 21.7	20 24.1	5 6.0	4 4.8	8 9.6
60歳以上	277 1900.0	242 1954.0	96 658.5	54 370.4	51 349.8	23 157.8	20 137.2	-	3 20.6	12 82.3	5 34.3	1 6.9	4 27.4	5 34.3	-	1 6.9	-	2 13.7	-

注：下段の数字は年齢階層別職員数に対する長期病休者率を示す。

表5 病休期間別・傷病別長期病休者数及び割合【令和3年度】

	総数	精神・行動の障害	新生物	循環器系の疾患	筋骨格系・結合組織の疾患	損傷・中毒・その他外因の影響	妊娠・分娩・産じょく	神経系の疾患	消化器系の疾患	その他	耳・乳様突起の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌・栄養・代謝疾患	眼・付属器の疾患	呼吸器系の疾患	皮膚・皮下組織の疾患	血液・造血器の疾患、免疫機構の障害	感染症・寄生虫症
総数	6,500 100.0%	4,760 100.0%	461 100.0%	265 100.0%	207 100.0%	202 100.0%	121 100.0%	101 100.0%	96 100.0%	72 100.0%	41 100.0%	39 100.0%	38 100.0%	28 100.0%	24 100.0%	17 100.0%	15 100.0%	13 100.0%
1年以上 3月未満	2,893 44.5%	1,857 39.0%	223 48.4%	121 45.7%	150 72.5%	161 79.7%	95 78.5%	44 43.6%	59 61.5%	35 48.6%	25 61.0%	28 71.8%	23 60.5%	22 78.6%	17 70.8%	13 76.5%	9 60.0%	11 84.6%
3年以上 6月未満	1,232 19.0%	965 20.3%	79 17.1%	54 20.4%	23 11.1%	27 13.4%	21 17.4%	14 13.9%	15 15.6%	11 15.3%	5 12.2%	4 10.3%	5 13.2%	2 7.1%	3 12.5%	2 11.8%	1 6.7%	1 7.7%
6年以上 1年未満	1,237 19.0%	1,025 21.5%	95 20.6%	24 9.1%	20 9.7%	5 2.5%	4 3.3%	14 13.9%	14 14.6%	17 23.6%	4 9.8%	4 10.3%	4 10.5%	3 10.7%	2 8.3%	1 5.9%	1 6.7%	-
1年以上 2年未満	779 12.0%	625 13.1%	46 10.0%	49 18.5%	6 2.9%	4 2.0%	1 0.8%	17 16.8%	5 5.2%	7 9.7%	6 14.6%	2 5.1%	4 10.5%	1 3.6%	2 8.3%	-	4 26.7%	-
2年以上 3年未満	281 4.3%	229 4.8%	14 3.0%	14 5.3%	4 1.9%	3 1.5%	-	9 8.9%	2 2.1%	1 1.4%	-	1 2.6%	2 5.3%	-	-	1 5.9%	-	1 7.7%
3年以上	78 1.2%	59 1.2%	4 0.9%	3 1.1%	4 1.9%	2 1.0%	-	3 3.0%	1 1.0%	1 1.4%	1 2.4%	-	-	-	-	-	-	-

注：下段の数字は傷病別長期病休者数に対する割合を示す。

表6 年齢階層別 精神及び行動の障害による長期病休者数及び長期病休者率

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総 数	3,841 1386.2	3,818 1385.1	4,186 1510.2	4,277 1535.2	4,760 1701.2
19歳以下	6 587.7	4 498.1	14 1498.9	15 1567.4	17 1785.7
20～29歳	628 1547.6	661 1542.6	830 1809.2	937 1904.5	1,174 2250.4
30～39歳	830 1450.0	836 1473.6	860 1537.1	903 1638.0	1,015 1833.0
40～49歳	1,275 1500.4	1,276 1545.4	1,297 1607.2	1,194 1541.0	1,165 1578.2
50～59歳	1,032 1299.4	982 1210.2	1,106 1367.3	1,148 1402.0	1,293 1559.7
60歳以上	70 505.1	59 510.3	79 615.3	80 572.4	96 658.5

注:下段の数字は年齢階層別職員数に対する長期病休者率を示す。

図2 年齢階層別 精神及び行動の障害による長期病休者数の推移

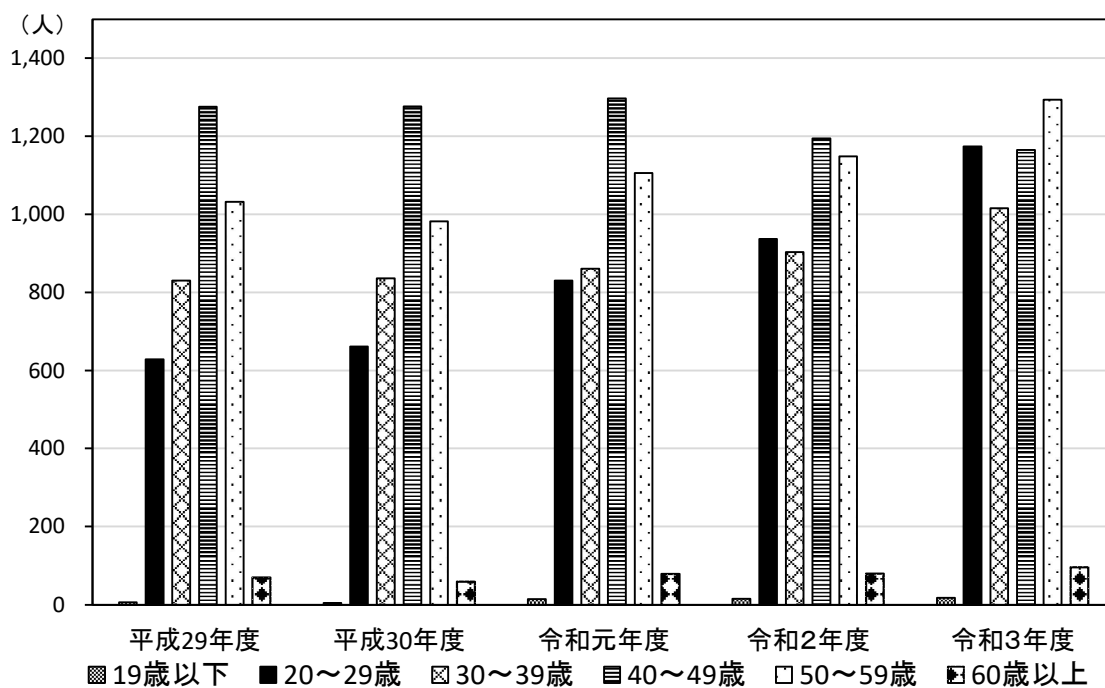


図3 年齢階層別 精神及び行動の障害による長期病休者率の推移

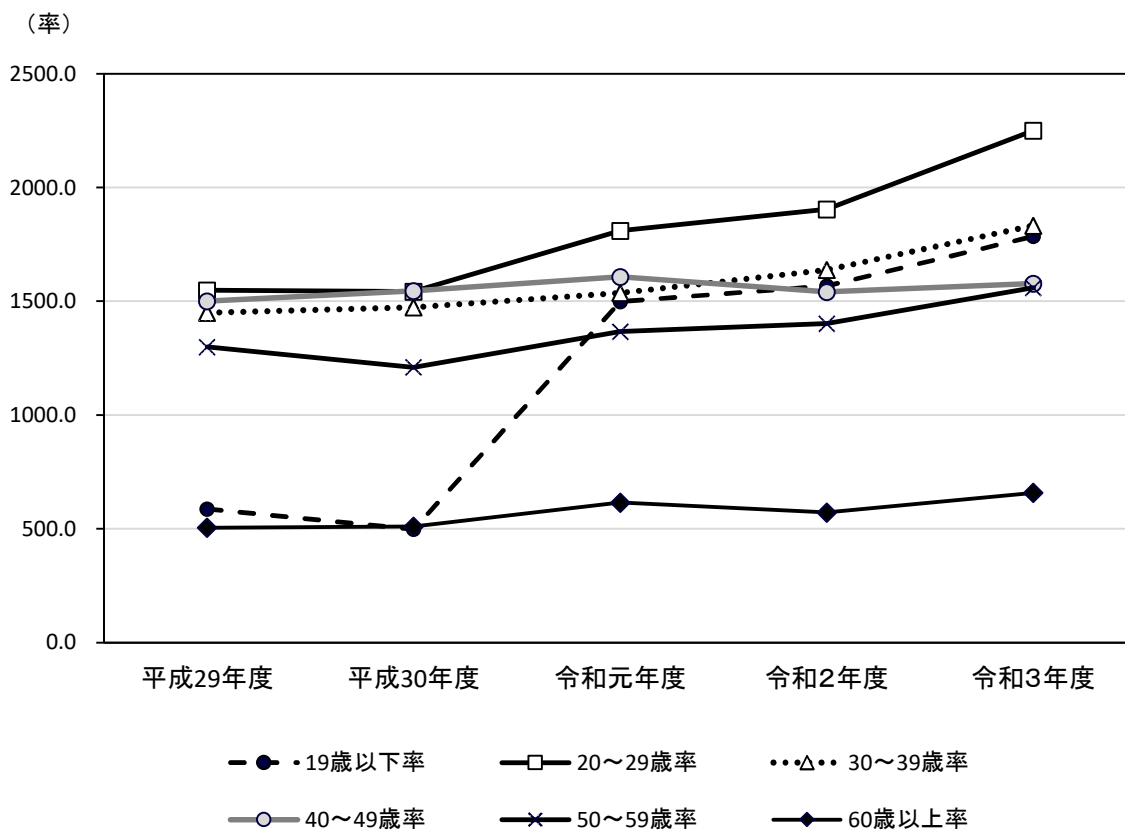


表7 性別 精神及び行動の障害による長期病休者数及び長期病休者率

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総数	3,841 1386.2	3,818 1385.1	4,186 1510.2	4,277 1535.2	4,760 1701.2
男性	2,902 1296.4	2,898 1312.0	3,110 1412.4	3,084 1407.9	3,376 1551.4
女性	939 1763.5	920 1679.9	1,076 1888.0	1,193 2003.6	1,384 2225.7

注:下段の数字は男女別職員数に対する長期病休者率を示す。

図4 性別 精神及び行動の障害による長期病休者数及び長期病休者率の推移

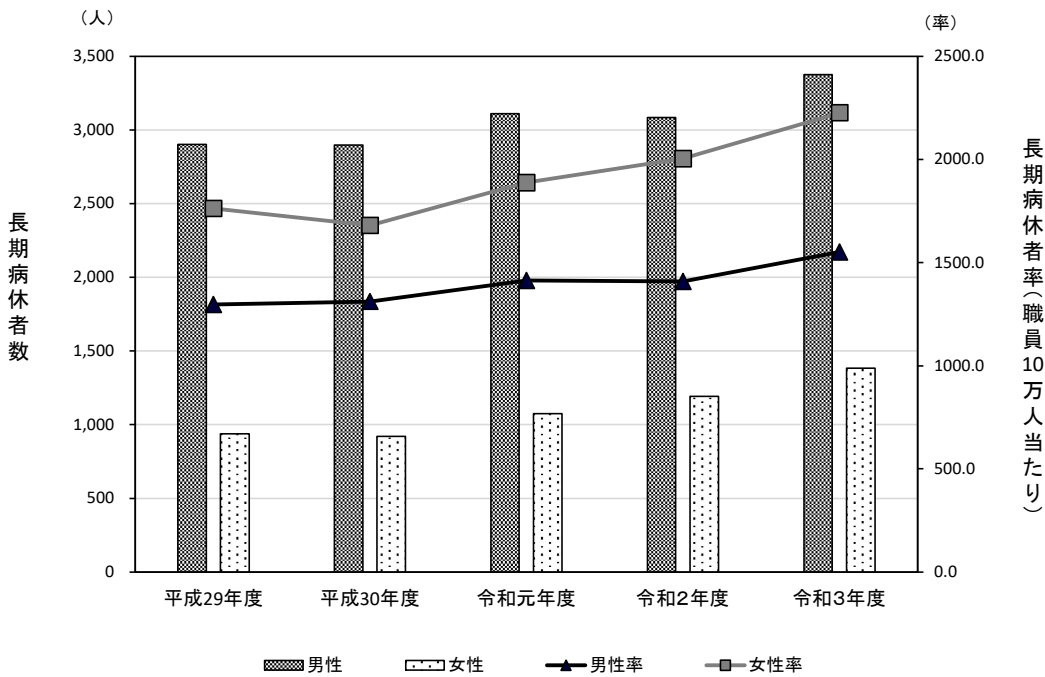


表8 平均超過勤務時間別 精神及び行動の障害による長期病休者数【令和3年度】

	総数	0～29時間	30～44時間	45～59時間	60～79時間	80～99時間	100時間以上	不明
総数	4,760	4,328	260	96	46	15	6	9

注:平均超過勤務時間とは、長期病休開始前6月間の1月あたり平均超過勤務時間である。